

新刊紹介 = 迫図書館 = ☎0220 (22) 9820

■大人向け



平成猿蟹合戦図

吉田 修一／著

心優しい主人公が未来を变える「戦い」に挑む。そこには思いもよらぬ結末が！



春を恨んだりはいらない

池澤 夏樹／著

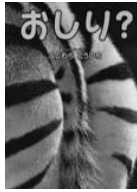
自然の脅威、被災地の肉声、生き残った者の責務。震災の全体像と日本の未来。



毎日おうちであつたか小物

アップルミンツ／発行
編み物で心も体もほっこりあたたかに♪節電を心がけたい方にもお薦めの一冊。

■子ども向け



おしり?

ふじわらこういち／写文
動物たちのおしりはそれぞれ形も模様も違います。このおしりの持ち主は…!?



日本の世界遺産がわかる本

カルチャーランド／著
美しい写真とわかりやすい解説で日本にある全ての自然遺産・文化遺産を紹介。



おじいちゃんの大切な一日

重松 清／著
物づくりや命のつながりのすばらしさを描いたお話。じんわりと心にしみます。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わが家のアイドル

No.78



橋本 睦人くん

(米山町平埜)
平成21年11月19日生まれ (1歳)
翼さんの長男

ショベルカーなどの働く車が大好きな睦人くん。ミニカーもたくさん持っています。最近では、スプーンやフォークを上手に使って一人でご飯が食べられるようになった睦人くんです。



尾形 美咲ちゃん

(登米町新町)
平成20年11月21日生まれ (2歳)
進さんの長女

美咲ちゃんは、プチトマトが大好き。おばあちゃんの畑で採れたプチトマトをモリモリ全部食べます。おじいちゃんとおばあちゃんに電話するのが大好きな美咲ちゃんは、電話が鳴ると一番先に取ります。



谷田 誠一郎くん

(石越町第九)
平成21年3月6日生まれ (2歳)
敏幸さんの長男

誠一郎くんは歌を歌うのが大好き。よく自分で歌詞作曲した歌を歌ってみんなを楽しませてくれます。最近では、一人でできることが少しずつ増え、朝に服を自分で選んで着るようになった誠一郎くんです。



佐々木 美菜ちゃん

(豊里町下町)
平成21年1月15日生まれ (2歳)
幸夫さんの次女

お皿拭きやお米とぎなどお母さんのお手伝いをしてくれる働き者の美菜ちゃん。踊りが大好きで「マルモリ体操」や保育園の運動会で踊った「南中ソーラン」を家族みんなに披露してくれます。

わげすたづ わげすたづ わげすたづ わげすたづ

まちの若い衆

No.78



沼倉 千晴さん (23歳)

ぬまくら ちはる
東和町米川第1区・うお座

お預かりからお迎えまで
お子さんが笑顔で過ごせる保育を

★身長と血液型 155センチでA型です。
★現在は 市立米谷保育所に非常勤の保育士として勤めて3年目になります。現在の担当は0歳児で、先輩とともにミルクやオムツの交換などのお世話をしています。仕事で

は、保護者様からお預かりしている大切なお子さんが、笑顔で過ごせるよう、体調の管理やケガをしないように日々心掛けています。
★自分の性格 つねに元気で、何事にも前向きに取り組みたいです。
★休日 は 友人と映画を見に石巻や富谷の映画館に出掛けたり、仙台方面に買い物に行ったりすることが多いです。
★趣味は 小物の雑貨が好きで、かわいい雑貨を探しているお店をのぞいて見るのが好きです。
★理想の男性像 包容力がある人で、尊敬できる人。
★今やってみたいこと 小さいころから絵本が好きなので、子ども用の布絵本を手作りで作ってみたいと思っています。

ぼくらの夢 No.78

責任感を持ち信頼される公務員に

学校では、生徒会に所属し生徒会長として運動会や合唱コンクールなど、生徒会活動の運営を中心となって行っている大和君。

部活動では野球部で6番ファーストとして活躍し登米市中学校総合体育大会では優勝。7月の県大会にも出場しました。
そんな大和君の夢は、公務員になること。



高橋 大和君 (中田中3年)
(中田町浅部・弘幸さん方)

長男として、この地元に残りたいの思いから、公務員を目指そうと思ったそうです。将来はどんな公務員になりたいかとの質問には「公務員の職種はまだ決めていませんが、どの職種でも、人との触れ合いを大切にする公務員を目指したいです」と話していました。

文芸 俳句・川柳

応募総数46作品

作品募集! ●12月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、11月10日までご応募ください。作品にはすべてかなを振ってください。●応募者多数の場合は選考して掲載します。

俳句

- さそれれし紅葉漂う置石 多可 緒 (登米)
- 露しぐれ朝の散歩にぬれにけり 大友 糸み (登米)
- 菊人形泣き伏す袖はまだつぼみ 世津 子 (登米)
- 汚染なし稲穂刈り取る農の汗 菊地 典子 (中田)
- 棟上げの五色の旗や秋高し 五十嵐 進太夫 (中田)
- よたよたでするりとかわす秋のはえ 小野寺 郁夫 (中田)
- 生き残る松に希望の月満ちぬ 小野寺 夕へ子 (中田)
- 袖口の草の実気付く夕餉どき 高橋 武比古 (中田)
- 中天に浮雲一つ今朝の秋 佐藤 やす子 (中田)
- 鎮魂の胡弓沁み入る風の盆 金野 容子 (中田)
- 風評にめげず農夫の出来の秋 大友 ふき江 (津山)
- 秋めくや風の新たに石仏 山田 直信 (津山)
- 川柳 娘に文をもみじの葉つばそつと添え 吉田 まさよ (迫)
- ホットして一等米に最敬礼 武内 弘也 (中田)